町民の広場

町民が議会に寄せる期待

大崎公民分館長
高瀬義一

四月に行われた地方統一選挙は、なぜか全国的に新人に追い風の吹くたぐいまれな激しい選挙戦でありました。見事に当選された二十名の町議の皆様、誠におめでとうございます。一時期町議に立候補される方が少なく、無投票の危機もありましたが、本町では現在、町議を目指す方が若干増えてまいりました。隔世の感があります。町民は、立候補者に感謝しなくてはならないと私は思っています。加世田市は、三期連続、市長選も含めて先の県議選・市議選とトリプル無投票で、議会で質疑が交わされ、選挙は、県民が意思表示する場、無投票は決して好ましいとは考えていない、とした上で「そういう状況（選挙）がある（機運）を醸成することが大事」と市長は答弁されました。加世田市民の心中を察して余りあるものがあります。

話は変わりますが、合併期限も二年足らずとせまり、各町の思惑や駆け引きも佳境に入り、議会代表に課せられた課題は、議員全員が一丸となって、四町のリーダー的存在感を遺憾なく発揮していただきたく、期待するものであります。任期と経験が物言う政界で、その陣容は十分にそろったと確信いたします。「初代市長は何が何でも大崎町から」といった機運の盛り上がることを願うものです。また、議会においては、一般質問の活性化を図るため、質問の回数制限を廃止されました。六月議会で新人四人が登壇されました為、先輩議員は遠慮されたようです。近い将来、一般質問が二日間に延長される日が再び訪れること、日曜日開催や、ナイター議会が開催される日を町民は期待しております。今後議員の皆様方の、ご活躍を楽しみに見守っています。

議会のうごき

七月一日……町内事務調査（文教厚生委員会）
七月二日……広報委員会
七月三～四日…委員長研修会
七月八日……町内事務調査（産業建設委員会）
七月十日……広報委員会
七月十一日……町内事務調査（総務委員会）
七月十六日……富士市議会来町
七月十七日……広報委員会
七月二十二～二十四日…県外事務調査（七城町・西海町）
八月一日……市町村合併問題調査特別委員会
八月五～六日…全国広報研修会
八月七日……市町村政研修会
八月十九日……伊集院町議会来町
八月二十一日…新議員研修会

議会だよりは私達が編集します。

第八十八号をお届けいたします。皆様のご意見やご感想をどしどしおよせ下さい。

▼広報編集委員長
・西高委員
・吉原委員
・後迫副委員長
・中山(美)委員
・米永委員長
・柿山委員
・安藤委員
・坂元委員
・鮫島委員
・中山(龍)委員

編集後記

機関委任事務制度の廃止など地方分権一括法の施行で地方分権改革は少しずつながらも進んでいる。

責任的自治体は、住民に最も身近な存在になることが必要であると思われる。これには十分な権限と財政基盤の確立が求められます。高度化する行政事務や住民に身近なサービスの処理が出来るようにして行くべきだ。

本議会は、六月定例会において「三位一体の改革」の早期実現に関する意見書決議案を可決し関係各機関へ提出しました。

広報委員会は新しい委員構成でスタートしました。紙面は議会に上程された案件や一般質問、時の話題、さらに町民の広場等紹介し多くの皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいります。